

ハイソリッド弱溶剤系2液型
ポリウレタン樹脂塗料

ポウミン テックス Uワイド



- 高耐久性(中膜)
- 1回塗り
- 容易な塗り替え

優れた作業性、耐久性、幅広い用途

弱溶剤タイプで環境配慮型、1回の塗装で高光沢と高耐久性を持つ床面が得られるハイソリッドタイプ。食品工場や機械工場等に適しています。また旧塗膜の上からでも下塗り無しで直接塗装が可能。さまざまな塗り替え塗装に活用できます。



特長・用途

特長

F☆☆☆☆

ホルムアルデヒドの発散は少ない
建築基準法、建築材料の区分は規制対象外となっている

- 1 1回塗りのローラー塗装でハイソリッドな塗膜を形成する
- 2 ハイソリッド弱溶剤系塗料
- 3 さまざまな旧塗膜への塗り替えが可能
- 4 高光沢とポリウレタン樹脂の優れた耐久性
- 5 優れた低温硬化性

用途

- 1 耐摩耗性・耐薬品性が要求される機械工場や印刷工場
- 2 防滑性を必要とする屋内パーキング(防滑仕上げ)
- 3 旧塗膜面の塗り替え
※大量の水および熱水がかかる床面には不適です。



一般工場・倉庫



運搬車両使用工場



機械工場



化学薬品工場・印刷工場



食品工場



自動車修理工場



事務室・ロビー



機械室・ボイラー室



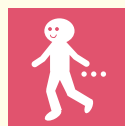
店舗・通路



屋内パーキング



車両通行通路



歩行者専用通路

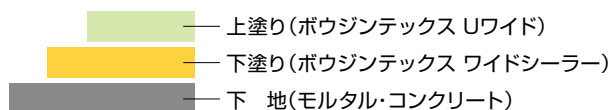


階段・廊下

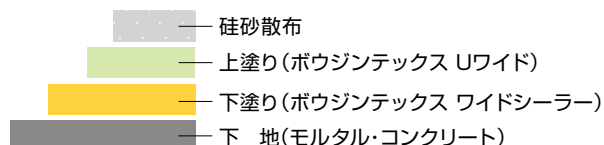
塗装工程

■標準工法

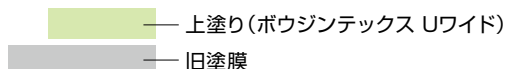
●平滑仕上げ



●防滑仕上げ

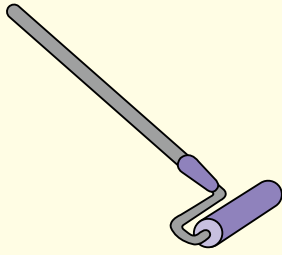


■塗り替え工法

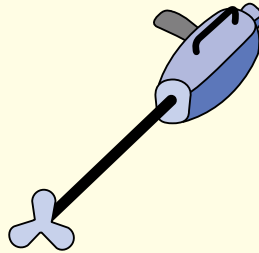


1回塗り!

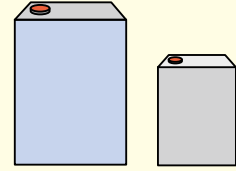
準備するもの



短毛ローラー

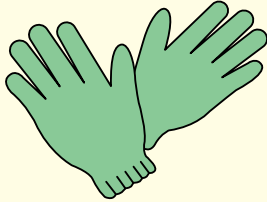


電動攪拌機

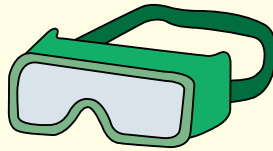


主剤 硬化剤

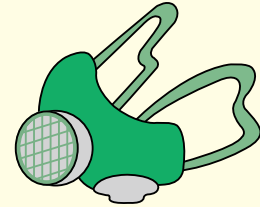
ボウジンテックス Uワイド



ゴム手袋



保護メガネ



防毒・防塵マスク

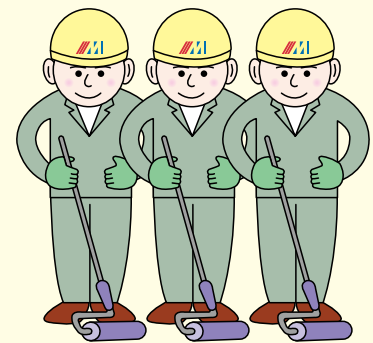
役割分担 施工をスムーズに行うためにあらかじめ役割分担を決めます。



混ぜる係



まく係



塗装する係

重要

- 硬化調整剤を使用する場合は、先に主剤と攪拌してから、硬化剤を入れてください。
- 主剤と硬化剤を混ぜたものは60分で使えなくなりますので、攪拌したら直ちにまいて塗り始めてください。
- 主剤と硬化剤を混ぜていないものは硬化しませんので、混ぜる係の人が責任をもって最初から最後まで専任してください。
- ローラーは必ず短毛ローラーをご使用ください。

BOUJINTEX U WIDE

施工要領

1



材料を並べる。主剤12kg、硬化剤3kgをペアにする。

2

主剤に硬化剤を入れる。(混ぜる係)

施工温度が低い場合、下記の通り硬化調整剤を添加してください。

- 15℃の場合 400mL / 15kgセット
- 10℃の場合 700mL / 15kgセット
- 5℃の場合 1,000mL / 15kgセット



3

電動攪拌機で十分に攪拌する。(混ぜる係)

上下左右ともムラなく攪拌する。



4

攪拌したら床にまく。(30m² (まく係))



5

短毛ローラーでゆっくりひきながら塗り広げる。(塗装する係)



性能・荷姿

性能		
試験項目	試験方法	結果
鏡面光沢度	JIS K 5600-4-7に準ずる。ガラス板に塗付500 μ m, 60度	85以上
引っかかり硬度 (鉛筆法)	JIS K 5600-5-4に準ずる。すり傷	H
耐摩耗性 (mg) (摩耗輪法)	JIS K 5600-5-9に準ずる。摩耗輪CS-17荷重500g \times 2, 1000回転	82 \pm 5
耐水性	JIS K 5600-6-1に準ずる。水道水に7日間浸せき	異常なし
耐アルカリ性	JIS K 5600-6-1に準ずる。水酸化カルシウム飽和水溶液に48h浸せき	異常なし
耐酸性	JIS K 5600-6-1に準ずる。硫酸5%水溶液に48h浸せき	異常なし
耐温水性	JIS K 5600-6-1に準ずる。50 $^{\circ}$ C温水に48h浸せき	異常なし
ホルムアルデヒド放散量	JIS K 5970 デシケータ法	0.12mg/L以下 F☆☆☆☆

荷姿	
■ 上塗り材	
ボウジンテックス Uワイド	15kgセット (主剤 12kg / 硬化剤 3kg)
	4kgセット (主剤 3.2kg / 硬化剤 0.8kg)
■ 下塗り材	
ボウジンテックス ワイドシーラー	16kgセット (主剤14kg / 硬化剤2kg)
	4kgセット (主剤3.5kg / 硬化剤0.5kg)
ボウジンテックス 強化シーラー	16kg \cdot 4kg
■ 希釈剤	
RMシンナー (S:夏用, A:春秋用, W:冬用, W速乾用)	16L \cdot 4L (ワイドシーラー用)
ボウジンテックス Uワイド硬化調整剤	4L \cdot 1L
■ 副資材	
ボウジンテックス フィラー	5kg

BOUJINTEX U WIDE

塗装仕様

■標準工法

●平滑仕上げ

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m ² /回)	塗面積 (m ² /缶セット)	可使時間 (23℃)	塗装間隔(23℃)	
								工程間	歩行可能
素地調整	新打設のコンクリート面では、夏季30日以上、冬季40日以上養生乾燥させ(モルタル面では夏季14日以上、冬季20日以上)、表面層の水分率5%以下(デジタル水分計)とする。表面層にレイタンスや緻密層があると付着不良の原因となるため、必ずポリッシャーまたはライナックス等で下塗りが含浸する下地面になるまで目粗しを行い、次いで丁寧に清掃する。既設モルタル・コンクリート面では、油分・ゴミ・ホコリ・泥等を丁寧に除去・清掃し、充分乾燥させる。また、クラック・不陸等は、あらかじめエポキシパテ等で充填しておく。								
下塗り	ボウジンテックス ワイドシーラー 主剤14kg 硬化剤2kg	0~5% RMシンナー	ハケ ローラー	1 (~2)	0.14~0.18	89~114 (44~57)	90分以内	4h以上 48h以内	—
上塗り	ボウジンテックス Uワイド 主剤12kg 硬化剤3kg	無希釈	ハケ 短毛ローラー	1	0.4~0.6	25~38	1h以内	—	16h以上 完全硬化2日以上

※塗付量にシンナーに含まれておりません。塗付量は条件により増減します。
 ※下地の吸い込みがはげしい場合は、下塗りを2回塗りしてください。()内は2回塗りしたときの塗面積です。

●汚染防止仕様

上塗り	ボウジンテックス マークストップ 16kg	無希釈	ハケ ローラー	1	0.1~0.12	133~160	—	—	16h以上 完全硬化3日以上
-----	--------------------------	-----	------------	---	----------	---------	---	---	-------------------

※ボウジンテックス Uワイドの上塗りとしてボウジンテックス マークストップを塗装することにより汚染防止効果が向上します。
 ※耐溶剤性の悪い旧塗膜がある場合はマークストップの塗装を避けてください。
 ※塗付量は条件により増減します。
 ※ボウジンテックス マークストップは直射日光により変色いたしますので、外部への塗装は避けてください。なお、日差しの入り込む窓際への塗装もご注意ください。

●防滑仕上げ

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m ² /回)	塗面積 (m ² /缶セット)	可使時間 (23℃)	塗装間隔(23℃)	
								工程間	歩行可能
素地調整	新打設のコンクリート面では、夏季30日以上、冬季40日以上養生乾燥させ(モルタル面では夏季14日以上、冬季20日以上)、表面層の水分率5%以下(デジタル水分計)とする。表面層にレイタンスや緻密層があると付着不良の原因となるため、必ずポリッシャーまたはライナックス等で下塗りが含浸する下地面になるまで目粗しを行い、次いで丁寧に清掃する。既設モルタル・コンクリート面では、油分・ゴミ・ホコリ・泥等を丁寧に除去・清掃し、充分乾燥させる。また、クラック・不陸等は、あらかじめエポキシパテ等で充填しておく。								
下塗り	ボウジンテックス ワイドシーラー 主剤14kg 硬化剤2kg	0~5% RMシンナー	ハケ ローラー	1 (~2)	0.14~0.18	89~114 (44~57)	90分以内	4h以上 48h以内	—
上塗り	ボウジンテックス Uワイド 主剤12kg 硬化剤3kg	無希釈	ハケ 短毛ローラー	1	0.4~0.6	25~38	1h以内	—	16h以上 完全硬化2日以上
硅砂散布	上塗り塗装と同時に5~6号硅砂(0.2~0.3kg/m ²)を均一に散布し、直後にもう一度ローラーを転がす。								

※塗付量にシンナーは含まれておりません。塗付量は条件により増減します。
 ※下地の吸い込みがはげしい場合は、下塗りを2回塗りしてください。()内は2回塗りしたときの塗面積です。

●その他の下塗り材(1液型)

下塗り	ボウジンテックス 強化シーラー 16kg ボウジンテックス フィラー 2kg	無希釈	ハケ ローラー	1 (~2)	0.14~0.18 (フィラー含む)	100~129 (50~65)*	—	4h以上 24h以内	—
-----	---	-----	------------	-----------	-----------------------	---------------------	---	---------------	---

※下地の吸い込みがはげしい場合は、下塗りを2回塗りしてください。()内は2回塗りしたときの塗面積です。

■塗り替え工法

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m ² /回)	塗面積 (m ² /缶セット)	可使時間 (23℃)	塗装間隔(23℃)	
								工程間	歩行可能
素地調整	旧塗膜上のゴミ、ほこり、油脂類等は除去し、清浄な素地面とする。								
上塗り	ボウジンテックス Uワイド 主剤12kg 硬化剤3kg	無希釈	ハケ 短毛ローラー	1	0.4~0.6	25~38	1h以内	—	16h以上 完全硬化2日以上

※防滑仕上げは、上塗り塗装と同時に硅砂を散布し、再度ローラーでならして仕上げます。

■施工温度が低い場合について

施工温度が低い場合、ボウジンテックス Uワイド硬化調整剤をご使用ください。(添加量は目安です)

15℃の場合 400mL/15kgセット (重量比 約2%)

10℃の場合 700mL/15kgセット (重量比 約4%)

5℃の場合 1000mL/15kgセット (重量比 約6%)

(添加量は主剤+硬化剤の総量に対してです。)

注意事項

仕様全般

1. 気温5℃以下、相対湿度80%以上、降雨、降雪、結露が予想されるときは、硬化不良を起こすことがありますので施工を避けてください。
2. 下塗りの塗付量が下限値以下の場合は剥離の可能性があります。
3. 塗装や塗料取り扱い時には、換気に気を付け火気厳禁としてください。また、溶剤中毒には充分ご注意ください。
4. 換気が不十分である場合、乾燥が遅れたり、光沢が低下するおそれがあります。
5. 静電気をさらう床には塗装しないでください。
6. 施工時および施工終了後において、充分な換気を行ってください。
7. 塗装による臭気で、近隣に迷惑を掛けることがありますので、充分に配慮をお願いします。
8. 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

塗料に関する注意

1. 使用前には充分攪拌してください。
2. 溶剤系塗料は、溶剤の影響により内圧が上がっている可能性がありますので、開栓時は充分ご注意ください。
3. ポウジンテックス 強化シーラーを炎天下で塗装すると層間剥離を起こす可能性がありますので施工を避けてください。
4. 水、アルコール系溶剤の混入は絶対に避けてください(専用シンナーをご使用ください)。
5. 2液型塗料の主剤と硬化剤の混合は必ず規定の調合割合で混合し、マーゼル等で充分攪拌してください。
6. 2液型塗料は、塗料ごとの可使時間内に塗装してください。また、気温が高い場合極端に可使時間が短くなりますので、手際よく塗装してください。
7. 小分けする場合は、充分攪拌して均一の状態にしてから行ってください。色浮き・色違いや硬化不良等の原因となります。
8. 市販の希釈用塗料シンナーには多種のシンナーがあり、適合しないものもありますので、必ず専用シンナーをご使用ください。
9. 化学物質過敏症の人は、塗料に含有している化学物質(VOC等)に過敏に反応される可能性がありますので、充分ご注意ください。
10. 硬化剤はイソシアネートを含有しているため、蒸気・ミスト等を吸い込まないようにしてください。また、皮膚に付着しないよう充分ご注意ください。
11. 2液型塗料の主剤と硬化剤は別々に密栓し冷暗所に保管してください。また、開栓後は早目に使い切ってください。
12. 材料の保管・取り扱いは消防法・労働安全衛生法に基づき充分な管理をお願いします。
13. 黄色色を使用している指定色は直射日光により変色いたしますので、外部への塗装は避けてください。なお、日差しの入る込む窓際の塗装もご注意ください。

カラーサンプル



(注)この色見本は印刷によるもので現物の色とは差があります。発注の際は、色見本帳または塗り板で色を確認してください。No.6オレンジは直射日光により変色いたしますので、外部への塗装は避けてください。なお、日差しの入る込む窓際の塗装もご注意ください。



LINE公式
アカウント開設!
ID: @521kgmun

水谷HPは
こちら↓



本社	☎ 532-0006	大阪市淀川区西三国4-3-90	☎ (06) 6391-3151 FAX (06) 6393-1101
大阪支店	☎ 532-0006	大阪市淀川区西三国4-3-90	☎ (06) 6391-3401 FAX (06) 6391-3456
西日本開発部	☎ 532-0006	大阪市淀川区西三国4-3-90	☎ (06) 6391-3401 FAX (06) 6391-3456
東京支店	☎ 101-0032	東京都千代田区岩本町1-4-5 NS岩本町ビル	☎ (03) 3865-8177 FAX (03) 3865-8760
東日本開発部	☎ 101-0032	東京都千代田区岩本町1-4-5 NS岩本町ビル	☎ (03) 3865-8177 FAX (03) 3865-8760
北関東支店	☎ 348-0038	埼玉県羽生市小松台2-705-22	☎ (048) 563-0355 FAX (048) 563-5124
中部支店	☎ 486-0815	愛知県春日井市十三塚町3-6	☎ (0568) 85-3551 FAX (0568) 85-3556
広島支店	☎ 734-0022	広島市南区東雲1-13-16	☎ (082) 284-6556 FAX (082) 283-0017
福岡支店	☎ 811-2304	福岡県糟屋郡粕屋町仲原2628-1	☎ (092) 611-5731 FAX (092) 621-2301
仙台営業所	☎ 984-0042	仙台市若林区大和町1-22-36	☎ (022) 782-6770 FAX (022) 232-6871
札幌営業所	☎ 003-0006	札幌市白石区東札幌6条5-2-6	☎ (011) 824-5711 FAX (011) 824-6464
工場		本社・埼玉・中部・広島・福岡	

特約店

カタログ掲載の内容は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
2402050404820